

安心できる子育ての手助けに

市では「苦小牧市子ども・子育て支援事業計画」をもとに、認定こども園の取り組みのほか、今までの窓口相談や地域の施設を活用した安心できる子育てをサポートする取り組みを進めていきます。

疑問を解決する 行政窓口相談

市では、子育てをしている方の相談の場として、こども育成課に相談窓口を設置しています。各家庭にあわせて、施設の選び方や保育料、受けられるサービス、申請方法など必要に応じた情報の提供や相談を行います。子育ての疑問にお答えしますので、気軽に相談してください。



地域の交流スペース 子育て支援拠点

市内には、子育て支援のための施設が5カ所あります。親子のふれあいの場としてのプレイルームの開放、離乳食講座をはじめとした育児に役立つ子育て講座などを行っています。また、子育ての不安や悩みを解消するため、電話や、来所で保育士による育児相談も行っています。どんな小さなことでも、気軽に相談ができます。子育て中のお母さんや、子ども同士の交流ができるので、ぜひご利用ください。



小学生を受け入れ 放課後児童クラブ

放課後、就労などで保護者が家庭にいない児童は、小学校や児童センターに開設された放課後児童クラブで過ごすことができます。今までの対象は小

学校3年生まででしたが、新制度では6年生までとなり、受け入れ体制が広がりました。利用の際には、入会の手続きなどが必要となりますので、詳細は入会を希望する児童クラブや市の青少年課へご確認ください。



広く意見を聴きながら

市では、「苦小牧市子ども・子育て審議会」を設置しています。この審議会は、専門家や教育・保育分野に携わっている方、一般の公募により選任された子育てを行っている方などで構成されており、「苦小牧市子ども・子育て支援事業計画」をより良いものにするために、広く意見を取り入れていきます。審議会は、計画策定後も毎年、市からの実施状況の報告を受け、適正な実施が行われているかを見守っていきます。

審議会委員に聞きました

子育て経験を生かして

現在、私は3歳と7歳の子どもを育てていますが、初めの頃は、どのように子育てを行ったら良いのか不安がありました。地域の子育てサークルに参加し、子育て仲間のお母さんと情報交換したり、市の「離乳食作り」講座などにも参加したりすることで不安を解消することができました。

このような経験から、引越しなどで周りに子育ての悩みを相談できる人もいない状態で、孤立している方の話を聞くと、私にも何かできないかと感じていました。そんな時に、子ども・子育て審議会委員の募集を目にして応募することにしました。

審議会では、専門家の方や子育て施設に勤めている方などから、いろいろな角度からの意見を聞くことができ、とても勉強になります。そこに私の経験を加え、安心して子育てができるまちになるためのお手伝いをしていきたいです。



苦小牧市子ども・子育て審議会委員
おがた 緒方 共さん
(あずきちゃん 限之輔くん)